

5 笠岡っ子の育成に関する事業

実施事業	子ども医療費給付事業（市民課）
総事業費	197,539,992円
ふるさと納税充当額	8,316,000円

子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、健康の向上と健全な発育に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図れるよう、子どもの医療費を助成しています。

対象年齢は、通院・入院ともに中学校修了前までとしておりましたが、平成30年度からは、入院について高等学校修了前まで対象年齢の拡大を行いました。

実施事業	教員業務アシスタント配置事業（教育総務課）
総事業費	7,899,670円
ふるさと納税充当額	6,000,000円

教員業務アシスタントを小学校4校（今井、金浦、吉田、大島）に配置することにより、教員の事務作業等の負担を軽減し、子どもたちに向き合う時間を確保するなど、本来の業務に専念することで学校現場の教育体制を充実させました。

実施事業	指導充実事業支援員賃金（学校教育課）
総事業費	31,198,500円
ふるさと納税充当額	7,005,000円

通常学級や特別支援学級において、配慮を要する園児・児童・生徒の支援をおこなうことで担任をサポートするため、幼稚園7園に7名、小学校12校に30名、中学校4校に11名を配置した。

実施事業	中学校学力向上に向けた検定チャレンジ（学校教育課）
総事業費	1,094,400円
ふるさと納税充当額	1,094,000円

漢字・英語・数学の各検定に向け、自主的・積極的に取り組むことで、学習意欲や基礎学力の向上を図るために検定の受検料の補助を行いました。

この事業を活用し、漢字検定は152名。英語検定は194名が、そして数学検定は55名が補助申請を行いました。

実施事業	英語教育推進モデル事業（学校教育課）
総事業費	4,038,524円
ふるさと納税充当額	3,300,000円

英語教育充実のため、小学生向けのイングリッシュキャンプと、市内の小中学校の先生方に委員になっていただき英語教育推進委員会を開催しました。

イングリッシュキャンプ（7/31）は、子どもたちが英語でコミュニケーションを取り、外国の生活の様子が分かる場として世界旅行を設定し、委託契約を結んでいるアルティアセントラル所属のALT9名とスタッフ2名と一緒に、笠岡市総合体育館で活動しました。ALTの母国の暮らしの様子を聞いて質問したり、母国の遊びを一緒にしたりして活動しました。また、日本の伝統的な遊びをALTに教え、一緒に遊びました。グループでALTのブースに行き、学年に応じた英語の語彙を設定した紹介や遊びに取り組み、子どもたちは積極的に英語を使うことができました。（参加者小学生49人）

英語教育推進委員会は、年4回、スーパーバイザーに大阪樟蔭女子大学の菅正隆教授を招いて、「笠岡市の目指す英語教育」（構想図）の教師の英語力・授業力の向上に向け、各中学校ブロック毎に具体的な手立てを提案しました。各ブロックの取組に対してスーパーバイザーから評価・助言をいただき、小中連携の英語授業づくりを進めることができました。

実施事業	心のプロジェクト「夢の教室」開催事業（学校教育課）
総事業費	437,000円
ふるさと納税充当額	400,000円

Ｊリーガーをはじめ様々なアスリートを特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、フェアプレー精神や協力すること夢を持つことの大切さ、また夢に向かって努力しようとする意識や態度を育みます。1回の教室時間は90分を基本とし、前半35分はゲームの時間、後半55分はトークの時間とします。

実施事業	ホリデーチャレンジ学習支援（夏チャレンジ分） （学校教育課）
総事業費	415,982円
ふるさと納税充当額	138,000円

小学生の学習意欲及び基礎学力の向上を図るため、夏季休業中に小学校を会場にして、国語及び算数を中心に家庭学習の支援の場として提供しました。

各校、地区の実情に合わせて、夏休みの期間中に1日2時間で5～10日間程度実施しました。

夏休みの課題を中心に子どもたちが取り組みたい内容を決め、目標を定めて学習に取り組んだり、分かりにくいところを支援の先生に聞いたりしながら、自分で計画的に取り組むことができました。

実施事業	井戸平左衛門賞（学校教育課）
総事業費	54,247円
ふるさと納税充当額	53,000円

目標・目的をもって中学校生活を送ろうとする意欲や向上心の醸成に資するため、市内全中学校の2年生を対象に、勉学に励み、思いやりの心やたくましさをもち、他の模範となる生徒14名を表彰した。

また、島根県大田市の協力もいただき、春休みには大田市にて、地元の中学生と1泊2日の交流活動も実施した。

実施事業	サマーチャレンジ学習事業（学校教育課）
総事業費	109,200 円
ふるさと納税充当額	80,000 円

市内の中学生を対象とした学習支援事業で、3日間開催しました。

包括連携協定を結んでいる就実大学から大学生を派遣していただき、中学生の質問に答える形で、指導に当たっていただきました。

市内3会場（中央会場、南部会場、北部会場）で実施し、3校9名の生徒が参加し、英語・数学を中心に学習に取り組みました。

実施事業	発達支援・養育支援事業（子育て支援課）
総事業費	3,172,000 円
ふるさと納税充当額	3,000,000 円

臨床心理士が幼児健診、個別相談、巡回相談等に從事することで、発達に課題を抱える子どもに対して、保健師や発達支援コーディネーターと一緒に、医療機関や療育機関、市内の幼稚園・保育所等と連携しながら、継続的に保護者と共に子どもの育ちを支援しました。幼児期から学齢期まで継続的な支援と支援の質の向上につながることができました。

《実績》

- ・ 幼児健診の心理相談 28 回
- ・ 2歳子育て教室 11 回
- ・ 個別相談 延べ 57 件（うち発達検査 21 件）
- ・ 巡回相談 16 施設（延べ 45 施設 延べ 181 名）

実施事業	子どもの生活実態調査事業（子育て支援課）
総事業費	213,250円
ふるさと納税充当額	200,000円

子どもの生活環境や実態を把握するために、幼児の保護者及び児童・生徒と保護者を対象にアンケート調査を行いました。

次年度は、アンケートの分析を行い、調査結果を基に、子育て家庭への支援の方向性を検討していきます。

《実績》

市内保育所（園）・認定こども園・幼稚園，小中学校に協力していただき，①年長児の保護者，②小学5年生児童と保護者，③中学2年生生徒と保護者を対象に行いました。

配布数：1,766枚，回収数：1,529枚，回収率86.6%

実施事業	特定不妊治療支援事業（子育て支援課）
総事業費	3,631,000円
ふるさと納税充当額	2,500,000円

不妊症のため子どもを持つことができない夫婦に対し，体外受精や顕微授精など特定不妊治療費の一部を助成しました。経済的な負担を軽減し，安心して治療を受けることができるようにしました。

- ・補助率1/2（限度額15万円/回）
- ・一対象者6回（90万円まで）

《実績》

- ・助成 延べ件数 31件（助成者数 15人）

実施事業	母子健康手帳アプリ導入事業（子育て支援課）
総事業費	487,058円
ふるさと納税充当額	487,058円

既存の母子健康手帳と併用でアプリやWebを活用し、健診や予防接種記録をデータ化したり、子育て情報を得ることができます。また、個人に合った予防接種スケジュール機能をもとに適切な時期に予防接種を受けることができます。

妊娠期や児の月齢に応じた情報を得ることで、子育て行事や支援施策の有効活用ができます。また、健診や予防接種の管理をデータ化することで生涯を通じた健康管理と、適切な時期に予防接種受診勧奨ができます。

《実績》

業者の選定を行い、笠岡市子育て応援アプリ「kasaoka すくすくログ」を平成31年2月1日運用開始しました。

・登録件数：214件（H31.3.31時点）

実施事業	乳児保育促進事業補助金（こども育成課）
総事業費	1,200,000円
ふるさと納税充当額	1,000,000円

産後の保護者が希望するタイミングでの職場復帰を実現するため、積極的に乳児保育に取り組む民間保育所に補助を行い、安定した乳児の受け入れ体制の確保を図りました。

実施事業	幼稚園一時預かり保育事業（こども育成課・教育総務課）
総事業費	4,834,617円
ふるさと納税充当額	4,000,000円

保護者が、疾病、出産、看護、介護、冠婚葬祭等のやむを得ない理由により、一時的に保育が困難となった場合に、在籍する園で預かり保育を実施しました。

市内5園（富岡、横江、大井、笠岡、尾坂）で実施し、延べ692人が利用しました。

実施事業	青少年育成用備品購入（生涯学習課）
総事業費	271,314円
ふるさと納税充当額	200,000円

笠岡市では、子ども達の自然体験や屋外活動、ものづくり体験等の企画・運営を行うことで、青少年健全育成の推進を図っています。

この度は、これらの活動に必要なテント等の備品購入に活用させていただきました。購入したテントは市主催行事以外にも市内団体への貸出しも行っており、多くの子ども達の自然体験や屋外活動に役立っています。



実施事業	神島認定こども園建設事業（こども育成課）
総事業費	91,800,000円
ふるさと納税充当額	3,000円

老朽化した神島保育所を移転し、新たに認定こども園として整備することで、利用者の増加を見込み、安心安全に過ごせる施設環境の充実を図ります。

実施事業	保育所備品購入費事業（こども育成課）
総事業費	540,086円
ふるさと納税充当額	14,000円

北川保育所・新山保育所・神島保育所・外浦保育所・吉田保育所の保育環境等を整えるため老朽化している備品の買換えや新規購入を行いました。

実施事業	要保護準要保護児童就学援助費（学校教育課）
総事業費	17,564,452円
ふるさと納税充当額	35,000円

経済的理由によって就学困難と認められる児童及び生徒並びに就学予定者の保護者に対し、学用品費や給食費等の一部を援助しています。

平成30年度は、小学生334人、中学生519人を認定し、支給を行いました。

実施事業	坂本音一育英会交付金（生涯学習課）
総事業費	423,000円
ふるさと納税充当額	8,000円

「公益財団法人坂本音一育英会」は故人の寄附金を基本財産とし、昭和40年から奨学生の給与事業を開始しています。この度の寄附金は奨学金の一部として活用させていただきました。

平成30年度には9名の高校生・大学生に奨学金を給与しており、平成30年度末時点で奨学生の総数は524名に達しています。

実施事業	特別支援学級タブレット端末整備事業（学校教育課）
総事業費	2,675,484円
ふるさと納税充当額	1,700,000円

市内小中学校の全ての特別支援学級にタブレット端末及び、大型モニタ、指導用ソフト「多層指導モデルMIM」を導入し、個別の支援を要する児童生徒の特性を見極めたり、学習活動の中で視聴覚的な支援をし、基礎学力の定着のために有効活用したりできるようにした。